



福貴野の滝 (田指定名勝) 寄主: 山田良 菊男

安心院縄文会機関誌

『安心院縄文』投稿より

安心院縄文会 顧問 古恵良 菊男

## 古恵良菊男氏より 寄贈

御年85歳の古恵良氏が平成14年から安心院縄文会機関紙の「安心院縄文コーナー」に投稿された分を1冊にまとめ、自費出版された書物を地区公民館に寄贈してくださいました。

「20年間の投稿をまとめてみました。恥ずかしいばかりの駄作ですが、ご笑読していただければ幸甚に存じます。」とコメント

是非ご一読ください。

## 2月16日(火) 津房地区安心ネットワーク会議 開催



民生委員・老人会会長・区長会長・副区長・まち協さんほか、社協・市役所・包括支援センターの職員の方など、18名の方が参加。

「高齢化率は想像を超えるスピードで高くなっています。令和2年3月現在、津房地区の高齢者率は52.4%（人口1,273人、内高齢者667人）で、安心院町4地区のトップ。しかし、要支援・要介護の認定率は20.5%（137人）と低いので、65歳以上の元気な方が多いのではないのでしょうか。この『元気』が地区の活性化に繋がると思います。」と、また、各種サービスの利用状況等々についての説明もありました。 たまたま通りかかった高倉駐在さんに声掛けしたら、快く参加していただき、「振り込め詐欺防止」についてお話をいただきました。

見守りの現状や課題など情報交換。忌憚のない意見が飛び交い、有意義な会議でした。

## 津房地区公民館便り

編集・発行  
津房地区  
公民館  
48-  
2001



今年も会議室にお雛様を飾りました



## 2/8(月) “菜の花会”による食育料理教室

日々、減塩普及活動に東奔西走されている菜の花会の皆様のご指導もと、健康的な料理教室開催。

「アンチエイジング」（抗加齢・抗老化）をテーマに

- ①舞茸と鶏むね肉の炊き込みご飯
- ②和風ロール白菜
- ③人参とツナのサラダ
- ④バナナキャラメリゼケーキ

の4品を作りました。

すべて食塩控えめで身体にやさしい料理です

④バナナキャラメリゼケーキ

②和風ロール白菜

③人参とツナのサラダ

①舞茸と鶏むね肉の炊き込みご飯

実食時間(30)にお邪魔し、美味しかったです。



## 【お礼】

荷宮 猛様（松本）ご逝去に伴う香典返しとして、喪主 荷宮 英二様より 地区公民館に志を頂きました。謹んで哀悼の意を表し、厚く御礼申し上げます。

津房地区公民館長 小野芳己

## 【お礼】

藤田 義弘様（塔尾）ご逝去に伴う香典返しとして、喪主 藤田 雅洋様より 地区公民館に志を頂きました。謹んで哀悼の意を表し、厚く御礼申し上げます。

津房地区公民館長 小野芳己

公民館だより  
QRコード



コロナ退散祈願



次回は二月二十七日(土)午後一時

終活の話もはずむ石路の花・聖枝  
電車待ち立食蕎麦に刻みネギ・茂  
葱入りのお好み焼の味深し・一圭  
信号は赤の点滅冬さるる・草生

(評)年寄りには暑さより寒さが身に  
る。今冬の寒さは例年になく厳しい。  
遂々「寒い」と呟けば妻も笑って  
る。永年苦楽を共にした老夫婦間  
は言葉はなくても以心伝心で通  
ずる。卒春過ぎて尚健康で家族と生  
活できる境遇は羨ましいことである。



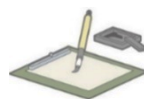
兼題(葱・冬・石路)

津房句会

十二月会 十二月二十六日(土)

俳句

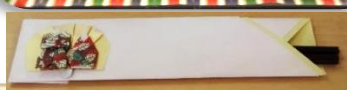
大隈草生選



あかりをつけましょ

ぼんぼりに〜♪

あいはらワールド全開



神の手(?)を持つ相原さんが  
お菓子などのきれいな包み紙で  
折った内裏雛などを展示して  
います。是非ご覧ください。



《今月の頭の体操》 試験には合格したけれど、  
よく似ていて覚えにく〜い道路標識はありますか？  
(白黒ですと余計分かりにくいかもしれませんが…)

赤と白  
車両通行止め

赤と白  
通行止め

赤と青  
駐車禁止

赤と青  
駐停車禁止

車両侵入禁止

指定方向外  
侵入禁止

一方通行

ラウンドアバウト  
(環状交差点)

「笑いあり、しみじみあり シルバー川柳 百歳バンザイ編」を  
めくっていたら、青木節代さん(93歳)の作品が目にとまったので  
紹介します。

【老いて行く 娘を案じる 母心】 ドキッ!

公民館の開館日は 火・水・金曜日です。お気軽にお立ち寄りください

おおくぼさんのやさしいお話

「イクメンの笑顔」



先日仕事帰りのこと。

“だっこバンド”で前に赤ちゃん、肩に大きな荷物  
をかけたスーツ姿の男性を見つけました。彼は、慣れ  
ない手つきでとても大事そうに赤ちゃんを抱き、さら  
に頭の所に手を添えて満面の笑みで赤ちゃんに語り  
かけながら歩いていました。

その笑顔とさりげなく添えた手の温かさがあまり  
に印象的で、私は思わず振り返り、二人の姿を見なが  
ら笑顔になりました。

私が育児をしていた数十年前に比べると、最近は、  
保育所や幼稚園の送迎をするパパが増えていて、イク  
メンの皆さんの存在を心強く感じます。

イクメンとは、積極的に子育てを楽しみ、自らも成  
長する男性、または、将来そんな人生を送ろうと考  
えている男性のことをいいます。

この頃は、イクジイ(爺)やソフリエ(NPO法人  
が考案した祖父の育児参加を促す資格のこと)という  
言葉も少しずつ広がっていて、彼らの活躍は、女性の  
就業継続を助けたり自身の働き方を見直すきっかけ  
になるなど、今後の家族のあり方を大きく変えていく  
と言われています。

性別や年齢を問わず、すべての人が自分らしく心豊  
かに暮らせる社会へ向けて、冒頭のパパと赤ちゃんの  
ような笑顔があちこちで見られるようになったら素  
敵だと思いませんか。

大分県人権啓発コラム「心ひらいて」より

安心院中央公民館 社会教育指導員 大久保和則

今後の行事予定

|          |                                        |
|----------|----------------------------------------|
| 2月25日(木) | 公民館 料理教室 9:00~                         |
| 3月6日(土)  | 令和2年度 宇佐市生涯学習作品展<br>＜宇佐文化会館＞9:00~17:00 |

※ 3月6日(土)~7日(日)開催予定の  
「全国鑑絵サミット in 宇佐」は延期になりました